平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　株式会社 スクロール　　上場取引所　東
コード番号　8005　URL　http://www.scroll.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 堀田　守
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　(氏名) 長田　隆利　TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,093	△0.1	1,176	△14.1	1,282	△10.5	780	△5.7
23年3月期第1四半期	15,115	△0.2	1,369	21.9	1,433	20.3	827	△27.4

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　801百万円　(5.1%)　23年3月期第1四半期　762百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	23.57	―
23年3月期第1四半期	30.25	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	36,302	22,899	62.9
23年3月期	36,905	22,346	60.4

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　22,846百万円　23年3月期　22,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△8.1	500	△67.9	600	△64.2	350	△61.1	10.58
通期	55,000	△2.6	1,300	△19.1	1,500	△18.0	900	135.4	27.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	34,320,650 株	23年3月期	34,320,650 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,230,908 株	23年3月期	1,230,849 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	33,089,792 株	23年3月期1Q	27,340,372 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成23年7月29日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年３月に発生した東日本大震災により、サプライチェーンの機能不全、電力供給の制約から自動車を中心とする製造業で生産ストップ・生産調整となるなど、甚大な影響を受けました。

小売業界におきましては、震災と原発事故の影響により、雇用情勢が依然として厳しく、また不要不急品の買控えなど消費者の購買意欲が大きく減退し、経営環境はたいへん厳しく推移いたしました。

このような情勢下におきまして、当社グループは、前年度に引き続き「成長戦略構築の時代へ」をテーマとし、次の施策に取り組んでおります。

① 1,000億円企業に向け、各事業部門において新成長戦略を推進する。
② 化粧品、アパレル商品などにおいて将来の成長性が見込める新事業に対して積極的なM&A投資を行う。
③ 次世代の通販ビジネスを見据え、顧客へのサービスレベルの向上及びインフラコストの削減を目的とした、情報システム及びシステムインフラ並びに物流体制の再構築を行う。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、連結売上高15,093百万円（前年同期比0.1%減）となりました。利益面におきましては、連結営業利益1,176百万円（同14.1%減）、連結経常利益1,282百万円（同10.5%減）、連結四半期純利益780百万円（同5.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。
なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、リアル店舗の52週マーチャンダイジングをイメージした「ＳＰＡ通販」の確立に取り組んでまいりました。具体的な施策としましては、インターネットとカタログ媒体のハイブリッドを志向した媒体フォーメーションの再編成を行っております。また、本年４月からインターネットマーケティング部を東京本店に移し、商品企画及び販売の連携を強化した製販一体体制を推し進めてまいりました。生協販売におきましては、日本生活協同組合連合会様との取引開始40周年を記念したキャンペーンを５月からスタートし、ご利用者の拡大に向けた、スクロールブランドの浸透に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は6,567百万円（前年同期比4.4%減）となり、セグメント利益は547百万円（同22.1%減）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、クールビズ対応商品など品揃えの幅を広げるとともに、お客様の要望を反映させたこだわり商品をわかりやすく提案すること、また、実需期の目的買いニーズに対応するため、インターネット販売の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,285百万円（同4.2%増）となり、セグメント利益は230百万円（同18.6%減）となりました。

③ 通販非アパレル事業

通販非アパレル事業におきましては、家具及びインテリア雑貨商品の事業拡大の可能性を踏まえ、今年度はその第一ステップとして、既存事業の売上拡大を目指すことといたしました。当第１四半期は「生活雑貨」商材から進化した「ファッションインテリア」商材の商品力強化を図るとともに、インターネットを中心とした売場情報の充実及び販売促進の多頻度化にも取り組み、順調に推移しております。また、基幹カタログ『生活雑貨』のラインナップとして、生活関連情報を豊富に掲載した、コンビニエンスストア限定販売の通販マガジン『おうち大好き！』を本年６月に創刊し、顧客拡大にも取り組んでまいりました。

また、事業会社の株式会社イノベートが運営する国内及び海外ブランド化粧品専門通販の『コスメランド』サイトの事業拡大を目指し、本年４月に自社で運営するショッピングサイト『コスメランド本店』をリニューアルしたことに加え、５月にはdocomo公式サイトをオープンいたしました。

以上の結果、売上高は4,620百万円（同5.8%増）となり、セグメント利益は449百万円（同14.3%増）となりました。

④ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、事業会社の株式会社スクロール３６０が通販事業者に対し、物流代行サービス・通販システム開発・販売促進支援サービスなど、アウトソーシングニーズに対応したサービスを３６０度全方位で提供しております。本年２月には、化粧品製造業（包装・表示・保管）の許可を取得し、コスメ・サプリメント商材を扱う単品通販企業様に対し付加価値のあるソリューション提案型営業を展開してまいりました。また、５月には「ダイレクトマーケティングＥＸＰＯ」に出展し、新規クライアントの獲得に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,490百万円（同2.6%増）、セグメント利益は111百万円（同32.2%増）となりました。

⑤ 金融事業

金融事業におきましては、平成21年６月末をもって個品割賦事業における新たな債権の買取りを終了いたしました。現在は、保有債権の回収に専念し、有利子負債の早期完済に努めております。なお、利息返還請求による損失に備えるため、損失発生見込額240百万円を引当金計上しております。

以上の結果、営業収益は129百万円（同44.2%減）となり、セグメント利益は109百万円（同26.4%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は23,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ894百万円減少しました。これは主に借入金の返済により現金及び預金が減少し、たな卸資産が増加したことによるものです。固定資産は12,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円増加しました。これは主にシステム再構築に伴う無形固定資産の増加によるものです。

この結果、総資産は、36,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ603百万円減少しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は11,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,145百万円減少しました。これは主に短期借入金を900百万円返済したことによるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、2,254百万円となりました。

この結果、負債合計は、13,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,157百万円減少しました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は22,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ553百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.4%から2.5ポイント上昇し、62.9%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、平成23年４月28日の平成23年３月期決算短信で公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,350	3,561
受取手形及び売掛金	12,533	13,086
たな卸資産	4,507	5,018
その他	2,726	2,490
貸倒引当金	△493	△426
流動資産合計	24,624	23,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,214	5,197
土地	4,659	4,659
その他（純額）	300	298
有形固定資産合計	10,174	10,156
無形固定資産	167	408
投資その他の資産		
その他	2,033	2,091
貸倒引当金	△94	△84
投資その他の資産合計	1,938	2,007
固定資産合計	12,280	12,571
資産合計	36,905	36,302
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,196	2,367
短期借入金	5,500	4,600
未払金	2,890	2,625
未払法人税等	282	389
引当金	271	161
その他	1,152	1,003
流動負債合計	12,293	11,148
固定負債		
長期借入金	1,100	1,100
退職給付引当金	449	465
その他の引当金	252	247
その他	464	440
固定負債合計	2,266	2,254
負債合計	14,559	13,402

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	9,715	10,247
自己株式	△697	△697
株主資本合計	22,051	22,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	274
繰延ヘッジ損益	△1	△12
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	242	262
少数株主持分	51	53
純資産合計	22,346	22,899
負債純資産合計	36,905	36,302

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	15,115	15,093
売上原価	8,367	8,858
売上総利益	6,747	6,234
販売費及び一般管理費	5,378	5,057
営業利益	1,369	1,176
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	15	15
不動産賃貸料	20	19
為替差益	6	17
貸倒引当金戻入額	－	43
その他	33	20
営業外収益合計	85	123
営業外費用		
支払利息	15	11
不動産賃貸費用	4	4
その他	1	0
営業外費用合計	21	17
経常利益	1,433	1,282
特別利益		
固定資産売却益	－	0
償却債権取立益	1	－
その他	0	－
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	14	－
投資有価証券評価損	－	3
その他	2	0
特別損失合計	19	4
税金等調整前四半期純利益	1,416	1,278
法人税、住民税及び事業税	512	491
法人税等調整額	66	4
法人税等合計	579	495
少数株主損益調整前四半期純利益	837	782
少数株主利益	10	2
四半期純利益	827	780

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	837	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	31
繰延ヘッジ損益	△26	△12
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	△74	19
四半期包括利益	762	801
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	799
少数株主に係る四半期包括利益	10	2

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販非アパレル事業	ソリューション事業	金融事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,868	2,193	4,367	1,452	232	15,115	－	15,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	41	0	42	△42	－
計	6,868	2,193	4,367	1,494	232	15,157	△42	15,115
セグメント利益	703	282	393	84	149	1,613	△179	1,433

（注）１．セグメント利益の調整額△179百万円には、セグメント間取引消去△163百万円及び投資不動産の調整額△16百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第１四半期連結累計期間において、東京支店の移転に関する意思決定を行った資産グループについて、減損損失を計上いたしました。当該事象に伴う報告セグメントに係る影響額は以下のとおりです。

なお、「通販アパレル事業」「通販インナー事業」「通販非アパレル事業」に係る減損損失は、全社に計上しております。

（単位：百万円）

	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販非アパレル事業	ソリューション事業	金融事業	全社・消去	合計
減損損失	－	－	－	2	0	12	14

（のれんの金額の重要な変動）

「通販非アパレル事業」において、当第１四半期連結累計期間に株式会社イノベートの株式８７．７％を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん832百万円を計上いたしました。なお、のれんの第１四半期連結累計期間償却額、第１四半期連結会計期間末残高に関しましては、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販非アパレル事業	ソリューション事業	金融事業	全社・消去	合計
第１四半期連結累計期間償却額	－	－	41	－	－	－	41
第１四半期連結会計期間末残高	－	－	791	－	－	－	791

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販非アパレル事業	ソリューション事業	金融事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,567	2,285	4,620	1,490	129	15,093	－	15,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	0	73	0	73	△73	－
計	6,567	2,285	4,620	1,563	129	15,166	△73	15,093
セグメント利益	547	230	449	111	109	1,449	△166	1,282

（注）１．セグメント利益の調整額△166百万円には、セグメント間取引消去△131百万円及び投資不動産の調整額△34百万円が含まれております。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。